

大学院教育振興施策要綱の検証方法について（案）

<個別の大学院の研究科・専攻単位における大学院教育の実質化の検証>

1 検証方法について

（1）書面による検証

- 物理、応用化学、機械、材料、建築、情報処理、電気・電子、バイオ、農学、広域・融合の中で10専攻の教育内容を検証。
- 同一分野を扱うと考えられる専攻で10～15大学の教育内容を比較。
- 対象とする大学院は、国公私別、規模別・地域別に抽出。（旧七帝大から3～4、地方国立大学から1～2、公立大学・私立大学から2～3、院GP・COE採択拠点から3～4）
- 博士課程を置く大学院だけではなく、修士課程のみを置く大学院も抽出。
- 任意に選択した大学院に、専攻ごとにアンケート（資料4-2）を記入してもらった上で、各大学院の取組を分野ごとにWGの委員の担当を決めて分析。
- 各委員が分析した内容について、WGの場で議論。

（2）ヒアリング等による検証

- 大学全体の取組について、WGの場でヒアリング。

2 スケジュールについて

- 10月中下旬：調査票の各大学への発出
- 11月中下旬：調査票回収・集計作業の開始
- 12月中下旬：集計結果のWGへの報告・委員による分析の開始
- 1月中下旬：委員によるWGへの分析結果の報告
- 1月～3月まで：検証作業結果を基にした審議

対象分野の整理方法について(案)

対象分野 関係委員	キーワード例	備考 (学校基本調査における大分類(中分類))
【物理】 五神委員(日本物理学会)	「物理」「宇宙」「量子」「地球」「天文」「粒子」「惑星」「自然科学」「レーザー」	理学(「物理学」)
【応用化学】 直井委員(電気化学会)	「応用化学」「化学」「ケミカル」「化学システム」(バイオ関係は【バイオ】)	工学(「応用化学」)
【機械】 堀井委員(土木学会)	「機械」「メカ」「力学」	工学(「機械工学」)
【材料】 光田委員(応用物理学会、日本金属学会)	「材料」「機能」「物質」「マテリアル」「物性」「金属」「有機デバイス」「ナノ」	工学(「金属工学」、「応用理学」、「その他」)
【建築】 野口委員(日本建築学会)	「建築」「建設」「都市」「開発」「設計」「デザイン」「アメニティー」	工学(「土木・建築工学」)
【情報処理】 阿草委員(情報処理学会、電気情報通信学会、ソフトウェア科学会)	「情報」「処理」「ソフトウェア」「セキュリティ」「知能」「コンピュータ」「計算」「通信」「コミュニケーション」「ネットワーク」「メディア」	工学(「電気通信工学」)
【電気・電子】 鈴木委員(電気学会、日本応用磁気学会)	「電気」「電子」「エレクトロニクス」「マイクロ」「磁気」(「電子物理」は【物理】)	工学(「電気通信工学」)
【バイオ】 木野委員(日本生物工学会、日本化学会) 菅委員(日本バイオケミストリー学会)	「バイオ」「生物」「生命」「ゲノム」「ライフ」「プロテオミクス」「発酵」「遺伝子」「アミノ」	理学、工学、農学
【農業】 一井委員(日本育種学会、日本作物学会)	「農業」「農学」「食」「園芸」「水産」「環境」	農学
【広域・融合】 小林委員(日本工学アカデミー) 高橋委員(日本知財学会、日本分子生物学会)	「総合」「理工学」「科学技術」「未来科学」「マネジメント」「システム」「新領域創成」「複合科学」「融合」「学際」	理学(「その他」)、工学(「その他」)、農学(「その他」)